

CLOSE UP

ひとの*ちから



1

かたやま まさき ● 1977 年生まれ、中央区在住。一緒に写っているのはホースセラピー用の馬、パラミノという非常に珍しい種類の馬だそうです。名前はキャラメル。

NPO 法人グリーンファーム 代表 片山 正貴 さん

府本の慈照院近くの細い道をしばらく登ると、馬の人形とグリーンファームの看板が見えます。その奥にあるのがNPO法人グリーンファーム、UIG（馬と・一緒に・頑張る）牧場。代表を務めるのが片山正貴さんです。片山さんは府本の片山牧場で産まれ育ち、幼い頃から馬が身近にいたのが当たり前。前の生活を送っていました。

グリーンファーム設立のきっかけは、現在ひきこもりや不登校の生徒が増加している事実を知ったことでした。昔

から馬の良さを知ってほしいと考えていた片山さんは、ホースセラピーを始めようと思い立ちました。ホースセラピーとは馬の癒しの効果を利用し、特別なことをしなくても、スキンシップや世話をすることでその効果が期待できる動物療法です。片山さんが思う馬の良いところは温もりと優しい目。馬は体温が38度あり、触れるととても温かいのだそうです。ホースセラピーは馬に乗るとその高さに感動し、馬の温かさから心のやす

らぎが生まれる精神的効果だけでなく、足やひざに負担をかけずに運動できる身体的効果を得る事もできます。「ホースセラピーを通して社会的に困っている人たちが、馬と触れ合うことで自立できるきっかけを持ってもらいたい」と片山さんは言います。ひきこもりや不登校の生徒は、周りから自分が必要とされていないと感じていることが多いそうです。馬の世話をし、馬に必要とされることが自立への一歩につながるのです。

現在の主な事業はスタッフが馬を引く「ひき馬体験」、1人で乗馬できる「乗馬体験」です。不登校やひきこもりの生徒のセラピーはフリースクールと協同行っています。他にも移動セラピーで学校、障がい者施設、老人福祉施設を訪問しています。「老人福祉施設では、普段外に出ようとしないう人も馬を触りに外に出て来てくれたんですよ」と嬉しそうな笑顔を見せます。

片山さんの今後の目標は「まずは継続していく事です。まだ始めたばかりなのでいろいろな人が協力してくれませ」と答えます。馬を愛し、同じように人も愛する片山さんだからこそ皆さんの協力が得られているのだと感じました。最後に「荒尾を馬とふれあえるまちにし、ドイツのように馬が道路を走ることができるような環境にするのが私の夢ですね」と語ってくれました。



1

老人福祉施設でのホースセラピー。ミニチュアホースのチョコラに興味津々。



2

障がい者施設でのホースセラピー。ロバのジローに乗り満面の笑顔になりました。



3

片山さんの子どもたち。皆、馬と仲良しです。